

令和６年６月２７日

指 導 部

令和６年度東京都教科用図書選定審議会（第２回）の答申について
～教科書調査研究資料について～

令和６年３月２８日開催の教育委員会の決定に基づき、教科書調査研究資料について、東京都教科用図書選定審議会に諮問したところ、令和６年６月１１日付けで下記の内容の答申を得た。

記

「令和７～１０年度使用教科書調査研究資料（中学校）」は、調査研究資料として適切であると認められる。

東京都教育委員会は、教科書の採択に当たり、これを活用するとともに、他の採択権者に対しても、これが十分に活用されるよう指導、助言又は援助を行うこと。

令和7～10年度使用教科書調査研究資料(中学校)について

中学校、義務教育学校（後期課程）、中等教育学校（前期課程）及び特別支援学校（中学部）において使用する教科書について、学習指導要領の教科の目標等を踏まえ、教科書の特徴や違いが明瞭に分かるよう、調査研究を行い「教科書調査研究資料」を作成した。

1 調査研究の対象とした教科書

文部科学省作成の「中学校用教科書目録（令和7年度使用）」に登載されている全ての文部科学省検定済教科書（10教科、16種目、142冊）である。

2 調査研究の項目

ア 内容

教育基本法、学習指導要領の各教科の目標、各学年の内容項目及び東京都教育委員会の基本方針等を踏まえ、教科書の内容の特徴を示す調査項目等を精選し、教材数や教材名、記述の概要などの調査研究を行った。

さらに、「我が国の位置と領土の扱い」、「国旗・国歌の扱い」、「神話や伝承を知り、日本の文化や伝統に関心をもたせる資料」、「北朝鮮による拉致問題の扱い」、「防災や自然災害の扱い」、「脱炭素化に関する扱い」、「持続可能な社会づくりの扱い」、「障害者理解に関する扱い」、「性差と家族についての扱い」、「オリンピック・パラリンピックの扱い」及び「固定的な性別役割分担意識に関する記述等」に関して調査研究を行った。

イ 構成上の工夫

各教科書の違いが明瞭に分かるよう、各教科書の構成等において、特に工夫されている点やデジタルコンテンツ等について調査研究を行い、その結果を分かりやすく記述した。

3 本資料「令和7～10年度使用教科書調査研究資料（中学校）」の取扱い

今後、東京都教育委員会は、本資料を基に、都立中学校及び都立中等教育学校（前期課程）で使用する教科書についての調査研究を、中高一貫教育及び各学校の特色を考慮して行う。また、都立特別支援学校（中学部）で使用する教科書についての調査研究を、生徒の障害の状態や特性等を考慮して行う。その上で、それらの調査研究及び本資料等を活用し、都立義務教育諸学校で使用することが適当と認める教科書を採択する。

また、東京都教育委員会は、本資料を都内の各区市町村教育委員会及び国・私立学校に送付し、これらの採択権者が調査研究や採択を行う上での参考資料として活用できるようにする。

令和 7 ～ 10 年度使用

教科書調査研究資料 (中学校)

令和 6 年 6 月

東京都教育委員会

英 語

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	英語 002-72・002-82・002-92	A 4 486	令和 6 年
9	開隆堂出版	開隆堂◆	英語 009-72・009-82・009-92	A 4 514	
15	三省堂	三省堂◆	英語 015-72・015-82・015-92	A 4 532	
17	教育出版	教 出◆	英語 017-72・017-82・017-92	A B 546	
38	光村図書出版	光 村◆	英語 038-72・038-82・038-92	A B 582	
61	新興出版社 啓林館	啓林館◆	英語 061-72・061-82・061-92	A 4 490	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊 数	発 行 者 の 略 称
18 冊	東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館

2 学習指導要領における教科・分野の目標等

【外国語科の目標】

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

【英語の目標】

英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1の(3)に示す資質・能力を育成する。

- (1) 聞くこと
 - ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。
 - イ はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようにする。
 - ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。
- (2) 読むこと
 - ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。
 - イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。
 - ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。
- (3) 話すこと〔やり取り〕
 - ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。
 - イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。
 - ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。
- (4) 話すこと〔発表〕
 - ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。
 - イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。
 - ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。
- (5) 書くこと
 - ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。
 - イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてま

- とまりのある文章を書くことができるようにする。
- ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。

【参考 中学校学習指導要領 第2章 第9節 外国語 第2 各言語の目標及び内容等 英語
3 指導計画の作成と内容の取扱い(3) から(抜粋)】

教材については、次の事項に留意するものとする。

ア 教材は、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成するため、1に示す五つの領域別の目標と2に示す内容との関係について、単元など内容や時間のまとまりごとに各教材の中で明確に示すとともに、実際の言語の使用場面や言語の働きに十分配慮した題材を取り上げること。

イ 英語を使用している人々を中心とする世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などに関するものの中から、生徒の発達の段階や興味・関心に即して適切な題材を効果的に取り上げるものとし、次の観点に配慮すること。

(ア) 多様な考え方に対する理解を深めさせ、公正な判断力を養い豊かな心情を育てるのに役立つこと。

(イ) 我が国の文化や、英語の背景にある文化に対する関心を高め、理解を深めようとする態度を養うのに役立つこと。

(ウ) 広い視野から国際理解を深め、国際社会と向き合うことが求められている我が国の一員としての自覚を高めるとともに、国際協調の精神を養うのに役立つこと。

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究の総括表（調査結果は「別紙1」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠（目標等）	数値データの単位
a 各学年で扱われている主な単元の数	英語「3 指導計画の作成と内容の取扱い(3)」	個
b 五つの領域のうち特定の領域に焦点を当てた活動及び複数の領域を統合した活動の数	外国語の目標 英語の目標	個
c 各学年で扱われている主な文、文構造、文法事項の数	英語「2 内容〔知識及び技能〕(1) エ」	種類
d 取扱い語数	英語「2 内容〔知識及び技能〕(1) ウ」	個
e 発展的な内容を取り上げている箇所数	学習指導要領 総則	箇所

イ 調査項目の具体的な内容（調査結果は「別紙2」）

① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

a 各学年で扱われている主な単元（Unit, Lesson, Program等の名称を冠され、複数のパートから構成されているもの。ただし、特定の領域・言語の使用場面等に焦点を当てた課、読み物教材、付録等を除く。）のタイトル及び扱う題材（別紙2－1）

b 「聞くこと」「読むこと」「話すこと〔やり取り〕」「話すこと〔発表〕」「書くこと」の五つの領域のうち特定の領域に焦点を当てた活動及び複数の領域を統合した活動の各学年における単元別の数（別紙2－1）

c 学習指導要領の英語「2 内容〔知識及び技能〕(1) エ」に示されている「文、文構造及び文法事項」のうち主なものが扱われている学年

なお、現行の学習指導要領が改訂された際、新たに追加された「文、文構造及び文法事項」の扱いについても把握できるようにする。（別紙2－2）

e 発展的な内容として扱われている文法事項等の名称及び具体的な学習の内容（別紙2－3）

<その他>

＊１ 北朝鮮による拉致問題の扱い

<調査の結果、＊１については記載のないことを確認した。>

＊２ 防災や自然災害の扱い（別紙２－４）

＊３ 障害者理解に関する扱い（別紙２－５）

＊４ オリンピック・パラリンピックの扱い（別紙２－６）

＊５ 固定的な性別役割分担意識に関する記述等

<調査の結果、＊５については記載のないことを確認した。>

② 調査対象事項を設定した理由等

- ・ 学習指導要領（平成 29 年告示）では、「英語を使用している人々を中心とする世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などに関するものの中から、生徒の発達の段階や興味・関心に即して適切な題材を効果的に取り上げる」とされている。このことから、各教科書で扱われている題材を把握するため、各単元のタイトル及び扱う題材を調査対象とする。（a）
- ・ 学習指導要領（平成 29 年告示）では、対話的な言語活動を一層重視する観点から「話すこと〔やり取り〕」の領域が設定され、従来の「話すこと」が「話すこと〔やり取り〕」と「話すこと〔発表〕」に分けられている。また、外国語科の目標として「言語活動を通して、（中略）コミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」とされるところとともに、英語の目標として、「聞くこと」「読むこと」「話すこと〔やり取り〕」「話すこと〔発表〕」「書くこと」の五つの領域別の目標が設定されている。このことから、それぞれの領域の扱いを把握するため、五つの領域のうち特定の領域に焦点を当てた活動及び複数の領域を統合した活動の数を調査対象とする。（b）
- ・ 学習指導要領（平成 29 年告示）では、文、文構造及び文法事項について、表現をより適切でより豊かにするなどの目的で、「感嘆文のうち基本的なもの」や「現在完了進行形」など数項目が追加されている。このことから、各教科書においてそれぞれの学年で扱われている主な「文、文構造及び文法事項」（本調査では 32 項目）を調査対象とするとともに、これらのうち新たに追加されたものの扱いも明らかになるようにする。（c）
- ・ 学習指導要領（平成 29 年告示）では、取扱い語数が、学習指導要領（平成 20 年告示）の「1200 語程度」の語から、小学校で学習する「600～700 語」に五つの領域別の目標を達成するための言語活動に必要な「1600～1800 語程度」を加えた「2200～2500 語程度」の語に改訂されている。このことから、小学校で学習した語も含め、各教科書において学年ごとに扱われている語数を調査対象とする。（d）
- ・ 発展的な内容については、学習指導要領第 1 章総則「第 2 教育課程の編成 3 教育課程の編成における共通事項（1）内容等の取扱い イ」において、「学校において特に必要がある場合には、第 2 章以下に示していない内容を加えて指導することができる。」と示されている。また、（3）「指導計画の作成等に当たっての配慮事項 イ」では、「各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的、発展的な指導ができるようにすること」と示されている。これらのことから、発展的な内容の扱いの有無、取り上げている内容の具体的な学習の内容について調査する。（e）

<その他>

- ・ 東京都教育委員会は、教育目標の基本方針 1 として「人権尊重の精神と社会貢献の精神の育成」を掲げ人権教育を推進してきた観点から、児童・生徒が人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、北朝鮮による拉致問題の扱いについて調査する。（＊１）
- ・ 東京都では、自然災害における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害における関係機関の役割等について考察させることを通じて、これらの問題を正しく理解できるようにするため、防災や、自然災害時における関係機関の役割等の扱いについて調査する。（＊２）

- ・ 東京都教育委員会の基本方針1である「人権尊重の精神」と「社会貢献の精神」の育成を踏まえ、障害のある人も障害のない人もともに尊重し合いながら活躍できる社会、共生社会の実現を目指す上で、障害のある幼児・児童・生徒に対する理解を深められるようにするため、その扱いについて調査する。（＊3）
- ・ 東京都教育委員会教育目標の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。（＊4）
- ・ 東京都教育委員会の基本方針1及び東京都の男女平等参画推進の施策を踏まえ、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」に気付いて言動等を見直していくなど、男女の平等を重んずる態度を養うことができるよう、その扱いについて調査する。（＊5）

③ 調査研究の方法

- 各学年で扱われている主な単元（Unit, Lesson, Program等の名称を冠され、複数のパートから構成されているもの。ただし、特定の領域・言語の使用場面等に焦点を当てた課、読み物教材、付録等を除く。）のタイトル及び当該単元で扱う題材について整理する。
- 「聞くこと」「読むこと」「話すこと〔やり取り〕」「話すこと〔発表〕」「書くこと」の五つの領域のうち、特定の領域に焦点を当てた活動及び複数の領域を統合した活動の各学年における単元別の数について整理する。その際、各教科書で設定している五つの領域別の記号や、複数の領域を統合した活動を表す記号等の数を参考とする。
- 学習指導要領の英語「2 内容〔知識及び技能〕(1) エ」に示されている「文、文構造及び文法事項」について、各学年で扱われている状況について整理する。その際、各教科書で扱われている新たな文法事項等を導入するための英文（いわゆる基本文等）、各単元の本文等を参考とする。
- 各教科書で学年ごとに扱われている語彙について整理する。その際、各教科書の巻末に掲載されている単語一覧等の見出し語の数を参考とする。
- 発展的な内容として扱われている文法事項等の名称及び具体的な学習の内容については、義務教育諸学校教科用図書検定基準第2章2（16）に基づき、発展的な学習内容以外のものと区別して、発展的な学習内容であることが明示されているものを整理する。

<その他>

- ＊1 北朝鮮による拉致問題について取り上げている項目及び記述の概要を調査する。
 - ＊2 防災や、自然災害について取り上げている項目及び記述の概要を調査する。
 - ＊3 障害者理解について取り上げている項目及び記述の概要を調査する。
 - ＊4 オリンピック、パラリンピックについて取り上げている項目及び記述の概要を調査する。
 - ＊5 固定的な性別役割分担意識に関する項目及び記述の概要を調査する。
- <調査の結果、＊1・5については記載の無いことを確認した。>

（2）構成上の工夫（調査結果は「別紙3」）

以下の観点について記載する。

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫（単元構成上の工夫等）
- 小学校外国語科との円滑な接続のための工夫（小学校で学習した語彙や表現の扱い方等）
- 付録等の資料の工夫（分野別の語彙リスト等）
- ユニバーサルデザインの視点
- デジタルコンテンツの扱い

「別紙1」【(1) 内容 ア 調査研究の総括表】(中学校 英語)

項目 発行者		a 各学年で扱われている 主な単元の数	b 五つの領域のうち特定の領域に焦点を当てた活動及び複数の領域を統合した活動の数						c 各学年で扱われている 主な文、文構造、文法事 項の数 ※調査項目は32項目	d 取扱い語数	e 発展的な内容を取り上げ ている箇所数
			聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと	複数の領域を 統合したもの			
東 書	第1学年	11	25	32	35	9	32	3	12	992	0
	第2学年	8	17	48	31	21	22	3	13	431	2
	第3学年	7	13	36	24	19	19	3	7	363	1
	合計	26	55 14.4%	116 30.3%	90 23.5%	49 12.8%	73 19.1%	9	32	1,786	3
開隆堂	第1学年	11	59	35	38	7	33	3	11	1,004	0
	第2学年	8	60	36	32	9	30	3	12	729	0
	第3学年	7	52	35	36	6	31	3	9	616	0
	合計	26	171 34.3%	106 21.2%	106 21.2%	22 4.4%	94 18.8%	9	32	2,349	0
三省堂	第1学年	10	62	33	35	14	32	3	12	1,146	0
	第2学年	8	59	35	19	13	29	3	13.5	658	0
	第3学年	8	55	32	21	11	23	3	6.5	440	1
	合計	26	176 37.2%	100 21.1%	75 15.9%	38 8.0%	84 17.8%	9	32	2,244	1
教 出	第1学年	10	43	42	35	11	12	3	14.5	1,110	0
	第2学年	10	40	59	31	15	14	3	12.5	577	0
	第3学年	8	26	61	19	19	10	3	5	498	0
	合計	28	109 24.9%	162 37.1%	85 19.5%	45 10.3%	36 8.2%	9	32	2,185	0
光 村	第1学年	9	71	32	40	22	30	3	13	1,038	0
	第2学年	8	63	34	40	15	30	3	11	727	0
	第3学年	8	58	32	29	17	26	3	8	702	0
	合計	25	192 35.6%	98 18.2%	109 20.2%	54 10.0%	86 16.0%	9	32	2,467	0
啓林館	第1学年	11	73	22	55	6	37	13	14	1,134	0
	第2学年	8	74	44	44	10	44	11	11	868	0
	第3学年	6	55	37	33	11	28	8	7	659	13
	合計	25	202 35.3%	103 18.0%	132 23.0%	27 4.7%	109 19.0%	32	32	2,661	13
平均値	第1学年	10.3	55.5	32.7	39.7	11.5	29.3	4.7	12.8	1,070.7	0
	第2学年	8.3	52.2	42.7	32.8	13.8	28.2	4.3	12.2	665.0	0.3
	第3学年	7.3	43.2	38.8	27.0	13.8	22.8	3.8	7.1	546.3	2.5
	合計	26.0	150.8 31.2%	114.2 23.6%	99.5 20.6%	39.2 8.1%	80.3 16.6%	12.8	32.0	2,282.0	2.8

a 各教科書で扱われている主な単元(Unit, Lesson, Program等の名称を冠され、複数のパートから構成されているもの)の数を数えたもの。

b 各教科書が設定している領域別の記号の扱いに基づき、「五つの領域のうち特定の領域に焦点を当てた活動」(各領域の活動)及び「複数の領域を統合した活動」をそれぞれ示す記号等の数を数えたもの。

なお、複数の領域を扱った一連の活動(「統合」の記号の付いているもの等)は「複数の領域を統合した活動」として数えている。

各領域の%は、五つの領域の活動の合計数のうち、その領域の活動が占める割合を表している。なお、小数点以下第二位を四捨五入している。

c 中学校学習指導要領(平成29年告示)に示されている主な文、文構造、文法事項のうち、本調査で扱っている32項目について、各教科書で学年ごとに扱われている項目の数を数えたもの。

d それぞれの教科書で巻末の単語一覧等に掲載されている見出し語の数を数えたもの。

「別紙２－１」【(１)内容 イ 調査項目の具体的な内容 a、b 東書】(中学校 英語)

a 各学年で扱われている主な単元の数			b 五つの領域のうち特定の領域に焦点を当てた活動及び複数の領域を統合した活動の数					
	主な単元 (Unit, Lesson等) のタイトル	各単元で扱う題材	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと	複数の領域を統 合したもの
第 1 学 年	0 Nice to Meet You	小学校のふり返り	0	0	1	0	0	0
	1 Hello, Everyone!	中学校生活の始まり	4	3	2	1	3	0
	2 Our New Teacher	ALTのチェン先生	4	3	2	1	3	0
	3 Our School	学校生活	4	3	3	0	3	0
	4 Friends in New Zealand	ニュージーランドの学校との交流	4	3	2	0	3	1
	5 My Brother in Hawaii	兄の文也の紹介スピーチ	2	3	5	1	2	0
	6 A Rakugo Performer from the U.K.	英語で落語	1	3	4	2	3	0
	7 An Online Tour of the U.K.	オンラインツアー	1	3	4	2	3	0
	8 Think Globally, Act Locally	国際支援・水問題	1	4	3	1	3	1
	9 Winter Vacation	冬休みの過ごし方	1	3	4	0	5	0
	10 This Year's Memories	中学校一年間の思い出	3	4	5	1	4	1
第 2 学 年	0 My Spring Vacation	春休みにしたこと	0	1	1	0	0	0
	1 What can we experience on a trip?	シンガポールへの旅行	3	6	3	4	2	0
	2 What is local food?	食の多様性と変化	2	6	5	2	3	0
	3 What kind of job are you interested in?	職業体験と将来の夢	3	7	4	3	5	1
	4 What is important in a homestay?	ホームステイでの国際交流体験	2	7	4	3	3	0
	5 What design is good for everyone?	ユニバーサルデザインの意義	3	7	4	4	3	0
	6 How can we make a good presentation?	身近なトピックについての調査と発表	2	7	5	3	3	1
第 3 学 年	7 What are World Heritage sites and their problems?	世界遺産の価値	2	7	5	2	3	1
	0 Discover a New Side of Classmates	クラスメートの新しい一面	0	1	1	0	0	0
	1 What is special about Japanese pop culture?	日本のポップカルチャー	3	7	5	4	4	0
	2 How do you choose your clothes?	エシカルファッション	3	7	4	2	2	0
	3 How can we save animals?	絶滅のおそれのある動物たち	2	9	3	5	4	1
	4 How can we help each other in a disaster?	東日本大震災のドキュメンタリー	1	4	5	2	2	0
	5 What makes a good leader?	ガンディーの功績と受けつがれる理念	1	3	2	2	4	1
各学年 及び 全学年の 合計	6 What does it mean to be a global citizen?	国をこえて助け合う大切さ	3	5	4	4	3	1
	第 1 学年	11単元	25	32	35	9	32	3
	第 2 学年	8単元	17	48	31	21	22	3
	第 3 学年	7単元	13	36	24	19	19	3
	全学年の合計	26単元	55	116	90	49	73	9

b ここでは、「主な単元」の範囲を、「単元の始まりから、次の単元の始まる前までの全て」として各活動の数を調査している。
(各学年の最後の「主な単元」の範囲は、その単元の始まりから教科書の終わりまでとしている。)

「別紙２－１」【(１)内容 イ 調査項目の具体的な内容 a、b 開隆堂】(中学校 英語)

a 各学年で扱われている主な単元の数			b 五つの領域のうち特定の領域に焦点を当てた活動及び複数の領域を統合した活動の数					
	主な単元 (Unit, Lesson等) のタイトル	各単元で扱う題材	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと	複数の領域を統合したもの
第 1 学年	0 Get Ready	小学校でできるようになったことを確認しよう	3	2	2	1	2	0
	1 友だちを作ろう	中学校生活の始まり	5	2	3	1	2	0
	2 1-Bの生徒たち	クラスの友だちが好きなこと、ふだんすること	4	3	3	0	2	0
	3 タレントショーを開こう	得意なことを発表し合う「タレントショー」	5	4	3	1	4	1
	4 Let's Enjoy Japanese Food	日本の食文化	5	3	3	0	3	0
	5 Pajama Day	アメリカの有名な行事	5	3	3	1	2	0
	6 The Way to School	世界の子どもたちの通学	5	3	2	0	4	0
	7 Research on Australia	オーストラリアの特徴	6	3	4	2	2	1
	8 Happy New Year!	年末年始の過ごし方	6	3	5	0	3	0
	9 A Trip to Finland	フィンランド旅行	8	5	5	0	5	0
	10 Grandma Baba's Warming Ideas!	ばばあちゃんの物語	7	4	5	1	4	1
第 2 学年	1 New Start	新学期の始まりとパーティーの企画	7	4	5	1	3	0
	2 Koshien Project in Africa	「アフリカ甲子園」	8	4	4	1	4	0
	3 Taste of Culture	世界各地の屋台料理	8	5	4	1	3	1
	4 Leave Only Footprints	カナダの自然とハイキングのルール	8	4	4	0	5	0
	5 Work Experience	職場体験	7	4	4	1	3	0
	6 High-Tech Nature	自然界からヒントを得て作られたもの	7	6	3	2	5	1
	7 Unique Animals	動物の生態と特徴	7	4	3	1	3	0
	8 A Hope for Lasting Peace	平和や折り鶴再生の取組	8	5	5	2	4	1
第 3 学年	1 Japanese <i>Bentos</i> Are Interesting!	日本の弁当文化	7	4	4	1	4	0
	2 Good Night. Sleep Tight.	睡眠が生活に与える影響	7	4	6	0	4	0
	3 Hot Sport Today	バスケットボールと車いすバスケットボール	9	5	7	1	5	1
	4 Sign Languages, Not Just Gestures!	手話	7	4	4	1	4	0
	5 The Story of Chocolate	チョコレートの歴史	7	5	6	1	4	0
	6 The Great Pacific Garbage Patch	海のプラスチックごみの問題	8	4	5	1	4	1
	7 Robots Can Improve Quality of Life	ロボットの可能性	7	9	4	1	6	1
各学年 及び 全学年の 合計	第 1 学年	11単元	59	35	38	7	33	3
	第 2 学年	8単元	60	36	32	9	30	3
	第 3 学年	7単元	52	35	36	6	31	3
	全学年の合計	26単元	171	106	106	22	94	9

b ここでは、「主な単元」の範囲を、「単元の始まりから、次の単元の始まる前までの全て」として各活動の数を調査している。
(各学年の最後の「主な単元」の範囲は、その単元の始まりから教科書の終わりまでとしている。)

「別紙２－１」【(１)内容 イ 調査項目の具体的な内容 a、b 三省堂】(中学校 英語)

a 各学年で扱われている主な単元の数			b 五つの領域のうち特定の領域に焦点を当てた活動及び複数の領域を統合した活動の数					
主な単元 (Unit, Lesson等) のタイトル		各単元で扱う題材	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと	複数の領域を統 合したもの
第 1 学 年	0 Starter	自己紹介、単語や文の書き方 等	4	0	4	0	2	0
	1 About Me	新しい友だち	6	3	6	1	4	0
	2 My Hero	あこがれの人物	4	2	4	2	3	0
	3 My Treasure	大切なもの	6	4	4	1	4	0
	4 My Summer Plans	夏休みの予定	5	2	3	2	3	1
	5 Ms. Brown's Family	ブラウン先生の家族	8	5	4	2	4	0
	6 School Life in the U.S.A.	アメリカの中学校生活	8	4	4	1	4	0
	7 Athletes with Spirit	スポーツの本質	6	4	1	2	2	1
	8 Discover Japan	日本発見の旅	8	5	3	1	4	0
第 2 学 年	9 Emergency Food	災害への備えと非常食	7	4	2	2	2	1
	1 Meet New Friends	バスケット部へようこそ	5	3	0	2	2	0
	2 Fun with Books	お気に入りの本	8	4	2	3	4	0
	3 My Dream	将来の夢	8	5	3	1	4	1
	4 Safe Clean Water	安全できれいな水	8	4	3	2	4	0
	5 Visiting Australia	オーストラリア旅行	7	5	4	2	4	0
	6 Friends from Singapore	姉妹校から来た友だち	9	6	3	0	4	1
	7 Gifts from China	中国のおみやげ	8	4	3	2	4	0
第 3 学 年	8 Rakugo Goes Overseas	“落語” から “rakugo” へ	6	4	1	1	3	1
	1 Join Us	ようこそ写真部へ	5	2	1	2	2	0
	2 The Power of Music	音楽のある毎日	8	4	3	2	4	0
	3 Cranes for Peace	折り鶴と平和への願い	6	4	1	2	2	1
	4 Bollywood Movies	インドの映画を見よう	8	4	4	1	4	0
	5 Translating Culture	世界に広がるマンガやアニメ	8	4	5	0	4	0
	6 Being Fair	平等ってなに？	6	4	1	2	2	1
	7 Design for Change	デザインの力	8	5	3	2	3	0
各学年 及び 全学年の 合計	8 For Our Future	新たな旅立ち	6	5	3	0	2	1
	第 1 学年	10単元	62	33	35	14	32	3
	第 2 学年	8単元	59	35	19	13	29	3
	第 3 学年	8単元	55	32	21	11	23	3
全学年の合計		26単元	176	100	75	38	84	9

b ここでは、「主な単元」の範囲を、「単元の始まりから、次の単元の始まる前までの全て」として各活動の数を調査している。
(各学年の最後の「主な単元」の範囲は、その単元の始まりから教科書の終わりまでとしている。)

「別紙２－１」【(１)内容 イ 調査項目の具体的な内容 a、b 教出】(中学校 英語)

a 各学年で扱われている主な単元の数			b 五つの領域のうち特定の領域に焦点を当てた活動及び複数の領域を統合した活動の数					
主な単元 (Unit, Lesson等) のタイトル		各単元で扱う題材	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと	複数の領域を統合したもの
第 1 学年	0 Springboard 1～6	さまざまな会話、音と文字のつながり 等	7	0	0	0	0	0
	1 Hello, New Friends	学校生活：新しい友達や先生との出会い	3	1	4	1	1	0
	2 Talking with Friends	日常生活：好きなもの、趣味	3	1	7	1	1	0
	3 Club Activities	日常生活：部活動	4	4	1	2	3	0
	4 My Favorite Things	日常生活：家族やペットの紹介	4	4	3	2	1	1
	5 School Life in Two Countries	日本と外国の文化：学校生活の違い	5	3	3	1	1	0
	6 Lunch in Chinatown	日常生活：食事	4	6	4	1	1	0
	7 Symbols and Signs	コミュニケーション：記号や標識	4	9	5	0	1	1
	8 Holiday in Hokkaido	日本の地理・文化：北海道	5	4	2	2	2	0
9 A Better World for Everybody	自然科学・環境：リサイクル、SDGs	4	10	6	1	1	1	
第 2 学年	0 Ms.King's Trip with Her Friend	しまなみ海道、松山市	0	2	0	0	0	0
	1 Assistance Dogs	福祉、動物：補助犬	4	5	4	1	1	0
	2 Energy Sources for Our Future	自然科学、環境：エネルギー問題	5	4	4	1	1	0
	3 Design Makes Change	社会、科学技術：ユニバーサルデザイン	4	7	5	1	2	1
	4 Workplace Experience	職業、社会：職場体験	4	4	3	3	1	0
	5 How to Celebrate Halloween	外国の文化：ハロウィーン	5	5	3	2	2	0
	6 Castles and Canyons	日本と外国の地理・文化：さまざまな名所	5	4	3	2	2	0
	7 The Gift of Giving	社会、福祉：さまざまな慈善活動	5	9	4	2	1	1
	8 Rakugo in English	日本の伝統文化：落語	4	5	2	2	1	0
9 Gestures and Sign Language	コミュニケーション：ジェスチャーや手話	4	14	3	1	3	1	
第 3 学年	0 Washoku, or Japanese Cuisine	京都での体験、和食	0	2	0	0	0	0
	1 Aya's Homestay in Vancouver	外国の地理、文化：カナダ	5	4	5	2	2	0
	2 The Eagles of Hokkaido	環境：北海道の自然保護	5	5	3	2	1	0
	3 Space Tourism	社会、科学技術：宇宙	5	9	3	2	1	1
	4 People Who Support Success	職業、社会：成功を支える人々	4	4	3	1	2	0
	5 Be Yourself	学校生活：卒業後の進路	5	5	4	2	2	0
	6 Why Do We Have to Work?	職業：働くことの意義、働き方	1	5	0	5	1	1
	7 Debating Doggy Bags	環境：食品ロスと食品衛生	1	27	1	5	1	1
各学年 及び 全学年の 合計	第 1 学年	10単元	43	42	35	11	12	3
	第 2 学年	10単元	40	59	31	15	14	3
	第 3 学年	8単元	26	61	19	19	10	3
	全学年の合計	28単元	109	162	85	45	36	9

b ここでは、「主な単元」の範囲を、「単元の始まりから、次の単元の始まる前までの全て」として各活動の数を調査している。
(各学年の最後の「主な単元」の範囲は、その単元の始まりから教科書の終わりまでとしている。)

「別紙２－１」【(１)内容 イ 調査項目の具体的な内容 a、b 光村】(中学校 英語)

a 各学年で扱われている主な単元の数			b 五つの領域のうち特定の領域に焦点を当てた活動及び複数の領域を統合した活動の数					
	主な単元 (Unit, Lesson等) のタイトル	各単元で扱う題材	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと	複数の領域を統 合したもの
第 1 学 年	0 Let's Be Friends! 1～8	世界の中学生、自己紹介 等	9	1	4	2	1	0
	1 Here We Go!	初登校	8	3	2	2	4	0
	2 School Activities	部活動	8	3	6	0	3	0
	3 Enjoy the Summer	もうすぐ夏休み	8	4	4	2	3	1
	4 Our New Friend	転校生	8	3	4	3	3	0
	5 Hi, David!	アメリカの高校生活	7	4	5	1	3	0
	6 Cheer Up, Tina	元氣を出して	7	4	6	2	5	1
	7 The New Year in Japan	日本の正月	8	6	4	1	4	0
第 2 学 年	8 Getting Ready for the Party	秘密の計画	8	4	5	9	4	1
	1 Hajin's Diary	日記	8	5	5	0	4	0
	2 Basketball Tournament	バスケットボール大会	9	3	5	1	3	0
	3 Plans for the Summer	夏休みの計画	8	5	6	0	5	1
	4 Tour in Singapore	シンガポールにやって来た	7	4	4	1	4	0
	5 How Do We Stay Safe?	災害に備えよう	8	3	7	1	3	0
	6 Guide Dogs	盲導犬	8	6	4	2	4	1
	7 Working Together	オリジナル劇を作ろう	8	3	5	1	3	0
第 3 学 年	8 Performing a Play	力を合わせて	7	5	4	9	4	1
	1 Virtual Safari Tour	バーチャル・サファリ・ツアー	9	5	3	3	3	0
	2 Our School Trip	修学旅行	9	3	5	0	4	0
	3 Lessons From Hiroshima	平和学習	7	5	3	3	4	1
	4 AI Technology and Language	AIと言語	7	6	4	0	5	0
	5 My Dreams for the Future	それぞれの夢	8	4	3	2	4	0
	6 The Chorus Contest	合唱コンクール	9	3	5	1	3	1
	7 Tina's Speech	お別れのスピーチ	6	3	5	1	2	0
各学年 及び 全学年の 合計	8 Goodbye, Tina	また会える日まで	3	3	1	7	1	1
	第 1 学年	9単元	71	32	40	22	30	3
	第 2 学年	8単元	63	34	40	15	30	3
	第 3 学年	8単元	58	32	29	17	26	3
	全学年の合計	25単元	192	98	109	54	86	9

b ここでは、「主な単元」の範囲を、「単元の始まりから、次の単元の始まる前までの全て」として各活動の数を調査している。
(各学年の最後の「主な単元」の範囲は、その単元の始まりから教科書の終わりまでとしている。)

「別紙２－１」【(１)内容 イ 調査項目の具体的な内容 a、b 啓林館】(中学校 英語)

a 各学年で扱われている主な単元の数			b 五つの領域のうち特定の領域に焦点を当てた活動及び複数の領域を統合した活動の数					
	主な単元 (Unit, Lesson等) のタイトル	各単元で扱う題材	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと	複数の領域を統 合したもの
第 1 学 年	0 Let's Start 1～3	学校での会話、英語の文字と音 等	0	0	0	0	0	0
	1 Let's Be Friends!	自己紹介	7	0	3	0	4	1
	2 Club Activities	部活動	7	0	4	0	3	1
	3 Hello, New Friend.	転校生	7	0	5	0	3	1
	4 My Brother in Canada	カナダでの留學生活	8	0	4	0	3	2
	5 A Fascinating Island in Hawaii	ハワイ	7	3	7	1	3	1
	6 My Aunt	身近な人物などの紹介、和菓子	7	3	6	2	4	1
	7 Our Sports Day	日本の運動会	7	4	6	1	4	1
	8 Jin in London	ロンドンの名所や文化	8	4	5	1	4	2
	9 Winter Vacation in New York	ニューヨークでの冬休みの思い出	7	4	9	0	4	1
	10 Plastic Waste	海洋プラスチックごみ	8	4	6	1	5	2
第 2 学 年	1 Talent Show	「タレントショー」	10	5	7	0	5	1
	2 Festivals in the World	世界の祭り	10	4	6	1	7	1
	3 Visitng Singapore	シンガポール	9	8	3	2	4	2
	4 Preparing for Natural Disasters	防災ウォーキング	9	3	5	2	4	1
	5 What is Your Dream?	職場体験	8	6	8	1	4	1
	6 Kiri on the Stage	合唱コンクール	9	8	5	0	6	2
	7 World Heritage Sites	世界遺産の特徴や課題	9	6	5	1	8	1
	8 Food Diversity	食の多様性	10	4	5	3	6	2
第 3 学 年	1 Trick Your Eyes with Art	3-D アート	8	6	6	1	5	1
	2 Passing Down Memories	広島原発	8	7	6	0	5	1
	3 Living Side by Side	動物との共存	11	4	4	3	5	2
	4 Society for All	ユニバーサルデザイン	8	8	5	1	4	1
	5 Take Action on Climate Change	気候変動の原因や対応策	10	3	4	3	5	1
	6 Working in the World	世界で活躍する人物の生き方や成し遂げたこと	10	9	8	3	4	2
各学年 及び 全学年の 合計	第 1 学年	11単元	73	22	55	6	37	13
	第 2 学年	8単元	74	44	44	10	44	11
	第 3 学年	6単元	55	37	33	11	28	8
	全学年の合計	25単元	202	103	132	27	109	32

b ここでは、「主な単元」の範囲を、「単元の始まりから、次の単元の始まる前までの全て」として各活動の数を調査している。
(各学年の最後の「主な単元」の範囲は、その単元の始まりから教科書の終わりまでとしている。)

「別紙２－２①」 【（１）内容 イ 調査項目の具体的な内容 ｃ】（中学校 英語）

※各「発行者」欄の「1年」、「2年」、「3年」は、それぞれの文、文構造、文法事項が扱われている学年を表す。
 ※表中の「例」で示している例文は、中学校学習指導要領（平成29年告示）解説外国語編による。
 ※表中の「★」の項目は、中学校学習指導要領（平成29年告示）で新たに追加された内容であることを示している。

	ｃ 各学年で扱われている主な文、文構造、文法事項	発行者					
		東 書	開隆堂	三省堂	教 出	光 村	啓林館
1	be動詞の現在形 (am, is, are)	1年	1年	1年	1年	1年	1年
2	be動詞の過去形 (was, were)	1年	1年	1年	1年	1年	1年
3	一般動詞の現在形 (三人称単数現在形、do/doesを用いた疑問文、否定文を含む。)	1年	1年	1年	1年	1年	1年
4	一般動詞の過去形 (規則動詞、不規則動詞、didを用いた疑問文、否定文を含む。)	1年	1年	1年	1年	1年	1年
5	疑問詞 (what, who, when, where, which, whose, why, how, how many等)	1年	1年	1年	1年	1年	1年
6	可能等を表す助動詞 (can)	1年	1年	1年	1年	1年	1年
7	未来や意思等を表す助動詞 (will)	2年	2年	1年	1年	2年	2年
8	未来を表す表現 (be going to～)	2年	2年	1年	1年	2年	2年
9	許可等を表す助動詞 (may)	2年	2年	2年	1年	1年	2年
10	義務等を表す助動詞と表現 (must, have/has to～)	2年	2年	2年	1年、2年	2年	2年
11	現在進行形 (am/is/are＋動詞のing形)	1年	1年	1年	1年	1年	1年
12	過去進行形 (was/were＋動詞のing形)	1年	1年	1年	2年	1年	1年
13	to不定詞 (to＋動詞の原形) の名詞的用法	1年	2年	2年	2年	1年	1年
14	to不定詞 (to＋動詞の原形) の副詞的用法・形容詞的用法	2年	2年	2年	2年	2年	2年
15	動名詞 (動詞の原形＋ing)	2年	2年	1年	1年	1年	1年
16	比較表現 (比較級、最上級、as～as…等)	2年	2年	2年	2年	2年	2年
17	受け身 (be動詞＋過去分詞)	2年	2年	3年	2年	2年	2年
18	現在完了形 (have/has＋過去分詞)	3年	3年	2年	3年	3年	3年
19	関係代名詞 (who, which, that)	3年	3年	3年	3年	3年	3年
20	後置修飾 (現在分詞、過去分詞を含む。)	3年	3年	3年	3年	3年	3年

「別紙2-2②」 【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 ㉓】(中学校 英語)

※各「発行者」欄の「1年」、「2年」、「3年」は、それぞれの文、文構造、文法事項が扱われている学年を表す。

※表中の「例」で示している例文は、中学校学習指導要領（平成29年告示）解説外国語編による。

※表中の「★」の項目は、中学校学習指導要領（平成29年告示）で新たに追加された内容であることを示している。

	㉓ 各学年で扱われている主な文、文構造、文法事項	発行者					
		東 書	開隆堂	三省堂	教 出	光 村	啓林館
21	命令文	1年	1年	1年	1年	1年	1年
22	There+be動詞+～（～がある[あった]・いる[いた]）の文	1年	1年	2年	1年	2年	2年
23	従属節をつくる接続詞（because, when, if等）	2年	2年	2年	2年	2年	1年
24	〔主語+動詞+間接目的語+直接目的語〕のうち、 主語+動詞+間接目的語+名詞/代名詞 例) The teacher told us an interesting story. She gave me her email address. など	2年	2年	2年	2年	2年	1年
25	〔主語+動詞+間接目的語+直接目的語〕のうち、 主語+動詞+間接目的語+how（など）to不定詞 例) I showed him how to send email. I showed him where to post the letter. など	2年	2年	2年	2年	3年	2年
26	〔主語+動詞+目的語+補語〕のうち、 主語+動詞+目的語+名詞/形容詞 例) We call him Toshi. Kimiko's smile always makes us happy. など	2年	3年	2年	2年	2年	2年
27 ★	感嘆文のうち基本的なもの 例) How interesting! What a big tree! など	1年	1年	2年	1年	1年	1年
28 ★	〔主語+動詞+間接目的語+直接目的語〕のうち、 主語+動詞+間接目的語+ thatで始まる節 whatなどで始まる節 例) I'll show you that this is not true. Please teach me what I have to do now. など	3年	3年	2年、3年	2年	3年	3年
29 ★	〔主語+動詞+目的語+補語〕のうち、 主語+動詞+目的語+原形不定詞 例) Will you let me try? I helped my father wash the car. など	3年	3年	3年	2年	3年	3年
30 ★	主語+be動詞+形容詞+thatで始まる節 例) I'm glad that you like it. I'm sure that many people will live with a robot in the future. など	2年	3年	2年	2年	2年	2年
31 ★	現在完了進行形 例) It has been raining since this morning. Masashi and Yukio have been playing soccer for two hours. など	3年	3年	3年	3年	3年	3年
32 ★	仮定法のうち基本的なもの 例) If I were you, I would ask my best friend to help me. If you had five million yen, what would you do? I wish I knew my cat's feelings. She is always crying in the house. など	3年	3年	3年	3年	3年	3年
第1学年で扱われている主な文、文構造、文法事項の数		12	11	12	14.5	13	14
第2学年で扱われている主な文、文構造、文法事項の数		13	12	13.5	12.5	11	11
第3学年で扱われている主な文、文構造、文法事項の数		7	9	6.5	5	8	7
合 計		32	32	32	32	32	32

「別紙２－３」【(１)内容 イ 調査項目の具体的な内容 。（中学校 英語）

項目 発行者	学年	取り上げている内容 (文法事項等の名称)	具体的な学習の内容 (教科書の英文又はその一部)
東 書	第 1 学年	※ 「発展」と明示している項目はなかった。	
	第 2 学年	・ 過去完了形 ・ 仮定法過去完了	・ One morning I woke up and discovered that <u>Elfie had died during the night</u> . (P112) ・ <u>I knew Elfie wouldn't have minded, but I said no.</u> (P112) (該当箇所に下線を引き、欄外に「発展」であることを明示している。)
	第 3 学年	・ 関係副詞	・ We must not forget that there are <u>many countries where millions of people are suffering from poverty, injustice, and ignorance.</u> (P104) (該当箇所に下線を引き、欄外に「発展」であることを明示している。)
開隆堂	第 1 学年	※ 「発展」と明示している項目はなかった。	
	第 2 学年		
	第 3 学年		
三省堂	第 1 学年	※ 「発展」と明示している項目はなかった。	
	第 2 学年		
	第 3 学年	・ 関係副詞	・ I have a dream that my four little children will one day live in a nation where they will not be judged by the color of their skin but by the content of their character. (P81) (欄外に「発展」であることを明示している。)
教 出	第 1 学年	※ 「発展」と明示している項目はなかった。	
	第 2 学年		
	第 3 学年		
光 村	第 1 学年	※ 「発展」と明示している項目はなかった。	
	第 2 学年		
	第 3 学年		
啓林館	第 1 学年	※ 「発展」と明示している項目はなかった。	
	第 2 学年		
	第 3 学年	・ 分詞構文 ・ 関係代名詞 what、過去完了形 ・ 前置詞の目的格となる疑問詞節 ・ 前置詞の目的格となる疑問詞to不定詞 ・ 過去完了形 ・ 過去完了形 ・ 強調構文 ・ 関係代名詞の非制限的用法 ・ SVC+whether節 ・ 知覚動詞＋原形不定詞 ・ SVC（疑問詞節） ・ 過去完了形 ・ 関係副詞	・ Then <u>Homer saw the bright little ball moving beautifully across the sky.</u> (P102) ・ All the others went home, but Homer was fascinated by <u>what he had seen</u> , and remained in the backyard for a while. (P102) ・ One day, Homer read an interesting magazine article <u>on how rockets work</u> and an idea came to him. (P102) ・ A few weeks later, Miss Riley called Homer to her desk and gave him a book <u>on how to make a rocket.</u> (P103) ・ <u>She had spent her own money on it.</u> (P103) ・ When Homer's dad learned that <u>Mr. Bykovski had helped the BCMA build rockets</u> , he sent the miner to work deep in the mines as a punishment. (P104) ・ Mr. Bykovski's death shocked Homer and he blamed himself because <u>it was building his rockets that caused Mr. Bykovski to be deep in the mine.</u> (P104) ・ <u>Homer went to see Mrs. Bykovski, who was leaving Coalwood to move to another town.</u> (P105) ・ He did his best but <u>was not sure whether the BCMA would win or not.</u> (P105) ・ <u>Homer felt his stomach twinge.</u> (P105) ・ <u>That was when Homer spotted his dad.</u> (P106) ・ <u>He had never come to any of the previous rocket launches but had come to the last.</u> (P106) ・ He would later write about <u>the time when he was a rocket boy with the BCMA.</u> (P106) (該当箇所に下線を引き、欄外に「発展」であることを明示している。)

「別紙２－４」【防災や自然災害の扱い】（中学校 英語）

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要（学年 掲載ページ）
東 書	「Unit 4 How can we help each other in a disaster?」 ・【写真】懐中電灯の写真、携帯ラジオの写真、ヘルメットの写真、東日本大震災で亡くなられた外国語指導補助教員（テイラー・アンダーソン氏）の写真、災害発生時の様子の写真、「テイラー文庫」に関する写真、非常持ち出しぶくろとその中身を示した写真を掲載（３年P51, 53, 54, 56, 57, 58） ・【本文】非常持ち出しぶくろに入れるものについて取り上げた本文や、東日本大震災で亡くなられた外国語指導補助教員を紹介する本文を掲載（３年P52-53, 54-55） ・【イラスト】災害発生時に必要な物品のイラスト、防災訓練のイラスト、非常口のイラスト、消火器のイラスト、AEDのイラスト、図記号を使った標識のイラストを掲載（３年P52, 53） ・【コラム・写真】「テイラー文庫プロジェクト」を紹介するコラム・写真を掲載（３年P56-57） 「資料編」 ・【写真】懐中電灯の写真、携帯ラジオの写真、ヘルメットの写真、東日本大震災で亡くなられた外国語指導補助教員（テイラー・アンダーソン氏）の写真、災害発生時の様子の写真、「テイラー文庫」に関する写真を掲載（３年P138） 「帯活動用Small Talk 即興で伝え合おう」 ・【本文】災害への備えに関する質問と表現の例を掲載（３年P147） ・【イラスト】ヘルメット、非常食、懐中電灯、作業用手袋のイラストを掲載（３年P147）
開隆堂	「PROGRAM 6 High-Tech Nature」 ・【本文】探索と救助に役に立つハチのロボットを紹介する本文を掲載（２年P81） ・【写真】探索と救助に役に立つハチのロボットの写真、災害発生時の写真を掲載（２年P81, 82） 「Reading 2 Friendship beyond Time and Borders」 ・【本文】トルコと日本の救援隊が、それぞれの国で震災が発生した際に互いに被災地で救援活動を行ったことを紹介する本文を掲載（２年P94） ・【写真】トルコの被災地で活動中の日本救援隊の写真、東日本大震災発生時に被害の様子を視察するトルコの救援隊員の写真を掲載（２年P94） ・【イラスト】災害発生時の救援活動のイラストを掲載（２年P95） ・【コラム】2023年にトルコ・シリア地震が起きた際に、日本では活発な支援の動きがあったことを紹介（２年P95） 「PROGRAM 7 Robots Can Improve Quality of Life」 ・【写真】救助活動できるロボットの写真を掲載（３年P98） ・【コラム】救助活動できるロボットを紹介（３年P98）
三省堂	「Lesson 9 Emergency Food」 ・【写真】防災バッグとその中身を示した写真、非常食の写真を掲載（１年P117, 122） ・【イラスト】非常食のイラスト、防災バッグと非常食のイラスト、避難所のイラスト、防災バッグとその中身を示したイラストを掲載（１年P117, 118, 119, 121, 123） ・【本文】非常食を取り上げた本文を掲載（１年P117-123）
教 出	「Lesson 7 Symbols and Signs」 ・【写真】非常口の誘導灯の写真を掲載（１年P105） 「Lesson 7 The Gift of Giving」 ・【本文】自然災害などの際に行われる募金活動について紹介する本文を掲載（２年P90） 「Tips for Listening 3」 ・【本文】災害発生時の「緊急時のアナウンス」をリスニングの題材として掲載（３年P73） ・【写真】非常口の誘導灯の写真を掲載（３年P73） ・【イラスト】災害時の身を守る行動を示すピクトグラムのイラストを掲載（３年P73）

「別紙２－４」【防災や自然災害の扱い】（中学校 英語）

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要（学年 掲載ページ）
光 村	付録「Find Your Favorite Songs」 ・【コラム】東日本大震災の際に歌（「You'll Never Walk Alone」）に託した励ましのメッセージが世界中から日本に届けられたことを紹介（２年P30） 「Unit 5 How Do We Stay Safe?」 ・【写真】災害用トイレの写真、防災バッグと飲料水・食料の写真、避難場所を示す標識の写真、消火訓練の様子の写真、自然災害（台風、落雷、豪雪）に関する写真、非常用持出品を入れた「中学生用 防災バッグ」の中身を示した写真を掲載（２年P59, 61, 66, 67） ・【本文】防災バッグに入れるものや緊急避難所を取り上げた本文、ラジオから流れる自然災害から身を守るための注意事項をリスニングの題材としたもの、自然災害発生時に必要な行動を紹介する本文、防災に向けた日々の心がけや取組をリスニングの題材としたもの、非常用持出品を入れた「中学生用 防災バッグ」を取り上げた本文を掲載（２年P60, 61, 62, 64, 65, 66-67） ・【イラスト】地震発生時の身を守る行動のイラスト、災害発生時にテレビやラジオを視聴するイラスト、避難するイラスト、非常持出袋の準備をするイラスト、防災に向けた日々の心がけや取組に関するポスターのイラストを掲載（２年P62, 64, 65） 「Let's Read 2 Meet Hanyu Yuzuru」 ・【本文】フィギュアスケート選手（羽生結弦選手）へのインタビューの中で東日本大震災に言及している部分を本文として掲載（２年P82-83） ・【写真】東日本大震災発生時の様子を写した写真を掲載（２年P83） 「Story Retelling」 ・【イラスト】地震発生時の身を守る行動のイラスト、災害発生時にテレビやラジオを視聴するイラスト、避難するイラスト、非常持出袋の準備をするイラストを掲載（２年P126） 「Play Back the Story」 ・【イラスト】非常持出袋の準備をするイラストを掲載（３年P7）
啓林館	「見返し」 ・【写真】防災グッズの写真を掲載（２年） 「Unit 4 Preparing for Natural Disasters」 ・【イラスト】地震発生時の様子のイラスト、避難訓練のイラスト、地域の防災ウィーキングイベントのイラスト、ハザードマップのイラスト、家族でハザードマップを作成している様子のイラスト、携帯トイレのイラスト、災害発生時のとるべき行動についてのイラストを掲載（２年P49, 50, 52, 54, 57, 58） ・【写真】非常用の食料・水・懐中電灯の写真、避難所と避難場所を示す標識の写真、防災バッグの写真、机の下に避難する様子の写真、家具や電化製品を固定している様子の写真、指定避難所を示す標識の写真、防災バッグとその中身を示した写真を掲載（2年P49, 52, 56, 57） ・【本文】防災ウォーキングイベントを取り上げた本文、海外出身の住民に向けた防災対策のラジオ番組をリスニングの題材としたもの、災害時のとるべき行動を取り上げた本文を掲載（２年P50-55, 56-57, 58） 「Unit 4 Society for All」 ・【イラスト】非常口の誘導灯のイラストを掲載（３年P51）

「別紙２－５①」【障害者理解に関する扱い】（中学校 英語）

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要（学年 掲載ページ）
東 書	「Unit 0 Nice to Meet You」 ・【イラスト】車いすに乗っている生徒のイラストを掲載（１年P7） 「夏休み特集 Our Summer Vacations」 ・【イラスト】車いすに乗っている生徒のイラストを掲載（１年P58） 「Unit 7 An Online Tour of the U.K.」 ・【イラスト】車いすに乗っている人のイラストを掲載（１年P88） 「表紙」 ・【イラスト】車いすに乗っている人のイラストを掲載（２年） 「見返し」 ・【写真】ユニバーサルデザインの写真を掲載（２年） 「Unit 5 What design is good for everyone?」 ・【写真】ユニバーサルデザインの写真、車いすに乗っている人の写真、ユニバーサルデザインの考え方を提唱したアメリカの教授（ロナルド・メイス氏）の写真を掲載（２年P59, 60, 61, 62, 64, 66, 67） ・【イラスト】ユニバーサルデザインのイラストを掲載（２年P59, 61, 62, 64, 66） ・【本文】ユニバーサルデザインを紹介する本文を掲載（２年P59-66） ・【コラム】ロナルド・メイスと「７つの原則」を紹介するコラムを掲載（２年P65） 「Grammar for Communication 5」 ・【イラスト】車いすに乗った人のイラストを掲載（２年P78） 「資料編」 ・【写真】ユニバーサルデザインの写真を掲載（２年P139） 「Grammar for Communication 4」 ・【イラスト】車いすに乗っている生徒のイラストを掲載（３年P87） 「帯活動用Small Talk 即興で伝え合おう」 ・【本文】多目的トイレに関する質問と表現の例、ユニバーサルデザインの例に関する質問と表現の例を掲載（２年P148） ・【イラスト】スロープのあるバスのイラストを掲載（２年P148）
開隆堂	「Get Ready」 ・【イラスト】車いすに乗っている人のイラストを掲載（１年P9） 「教科書の構成」 ・【写真】パラスポーツの写真を掲載（３年P4） 「PROGRAM 3 Hot Sport Today」 ・【本文】車いすバスケットボールを紹介する本文を掲載（３年P35） ・【イラスト】車いすバスケットボールのルールを紹介するイラストを掲載（３年P35, 36） 「Our Project 7」 ・【写真】パラスポーツの写真を掲載（３年P43, 44, 45） ・【本文】パラスポーツを発表の題材として掲載（３年P43-47） 「PROGRAM 4 Sign Languages, Not Just Gestures!」 ・【写真】手話をしている写真、「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」の写真、手話で会話する店員の写真、筆談での注文の写真、ユニバーサルデザインのトイレの写真を掲載（３年P55, 58, 61, 62, 63） ・【イラスト】手話をしているイラスト、動画内で手話をするイラスト、音響信号機のイラスト、自動ドアのイラストを掲載（３年P55, 56, 58, 59, 62, 63） ・【コラム】「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」を紹介するコラムを掲載（３年P58） ・【本文】手話を紹介する本文、ユニバーサルデザインのトイレを紹介する本文を掲載（３年P59-62, 63） ・【図】ASLが使われている国の地図を掲載（３年P60, 62） 「PROGRAM 7 Robots Can Improve Quality of Life」 ・【写真】ALS患者など、外出できない人々が操作できる分身ロボットの写真を掲載（３年P95, 99） ・【イラスト】ALS患者など、外出できない人々が操作できる分身ロボットがカフェで働いているイラストを掲載（３年P99） ・【本文】ALS患者など、外出できない人々が操作できる分身ロボットを紹介する本文を掲載（３年P99）

「別紙２－５②」【障害者理解に関する扱い】(中学校 英語)

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要 (学年 掲載ページ)
三省堂	「For Self-study 1 中学校で学ぶこと」 ・【イラスト】車いすテニスのイラスト、車いすバスケットボールのイラストを掲載 (1年P6) 「My Dictionary」 ・【イラスト】車いすバスケットボールのイラストを掲載 (1年P19) 「Lesson 2 My Hero」 ・【写真】車いすバスケットボールの選手 (鳥海連志選手) の写真を掲載 (1年P36) ・【イラスト】車いすバスケットボールのイラストを掲載 (1年P38) 「Lesson 7 Athletes with Spirit」 ・【写真】車いすバスケットボールの競技場面の写真、車いすバスケットボールの選手 (鳥海連志選手) の写真を掲載 (1年P91, 92, 93, 95) ・【イラスト】車いすバスケットボールの選手のイラスト、車いすに乗っている人のイラスト、車いすバスケットボールの競技場面のイラスト、車いすバスケットボールのピクトグラムを掲載 (1年P92, 93, 94, 95) ・【本文】車いすバスケットボールの選手 (鳥海連志選手) を紹介する本文を掲載 (1年P92-95) 「Language Focus 1」 ・【イラスト】車いすバスケットボールのイラストを掲載 (2年P12)
教 出	「Springboard 2」 ・【イラスト】車いすに乗っている人のイラストを掲載 (1年P9) 「Tips for Listening 1」 ・【イラスト】車いすに乗っている生徒のイラストを掲載 (1年P86) 「Lesson 7 Symbols and Signs」 ・【写真】車いすのピクトグラムが示されている標識の写真を掲載 (1年P103) 「Lesson 1 Assistance Dogs」 ・【写真】車いすに乗っている人と補助犬の写真、盲導犬の写真、聴導犬の写真を掲載 (2年P11, 12, 14, 16, 18) ・【本文】盲導犬と聴導犬を紹介する本文を掲載 (2年P12-18) ・【イラスト】盲導犬のイラスト、聴導犬のイラストを掲載 (2年P15, 17) 「Lesson 3 Design Makes Change」 ・【本文】ユニバーサルデザインを紹介する本文を掲載 (2年P38-40) ・【写真】ユニバーサルデザインに配慮した自動販売機の写真、ユニバーサルデザインに配慮したトイレの写真、ユニバーサルデザインに配慮した駅のホームの写真を掲載 (2年P38, 39, 40) 「Lesson 7 The Gift of Giving」 ・【イラスト】車いすに乗っている生徒のイラストを掲載 (2年P92) 「Lesson 9 Gestures and Sign Language」 ・【本文】日本手話とアメリカ手話の違いを紹介する本文を掲載 (2年P122-124) ・【写真】手話をしている人の写真を掲載 (2年P122) ・【イラスト】手話をしている生徒のイラストを掲載 (2年P123, 124) 「Tips for Speaking 2」 ・【イラスト】車いすに乗っている生徒のイラストを掲載 (3年P86)

「別紙２－５③」【障害者理解に関する扱い】（中学校 英語）

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要（学年 掲載ページ）
光 村	◆ ストーリーの主な登場人物の中に車いすに乗っている高校生がおり、第１学年の「Unit 5 Hi, David!」や第２学年の「Unit 4 Tour in Singapore」を中心に、第１学年から第３学年までの教科書全体を通じて、その人物に関する本文や、その人物のイラストが多数掲載されている。 「見返し」 ・【写真】車いすに乗っている人の写真を掲載（１年P2） ・【イラスト】車いすに乗っている生徒のイラストを掲載（１年P5） 「Let's Be Friends! 2」 ・【イラスト】車いすに乗っている人のイラストを掲載（１年P9） 「帯教材」 ・【イラスト】車いすに乗っている人のイラストを掲載（１年P143） 「見返し」 ・【イラスト】車いすに乗っている生徒のイラストを掲載（２年P5） 「Unit 4 Tour in Singapore」 ・【本文】シンガポールの街には車いすを使う人が利用できる通路が至る所にあることを紹介した本文を掲載（２年P52） ・【写真】車いすを使う人が利用できる通路を示す標識の写真を掲載（２年P52） 「Unit 6 Guide Dogs」 ・【写真】車いすに乗っている人が犬を連れてくる様子の写真、介助犬の写真、盲導犬の写真を掲載（２年P71, 74） ・【本文】盲導犬を紹介する本文、盲導犬候補の子犬を飼育するボランティアを紹介する本文を掲載（２年P72, 74, 76） ・【イラスト】盲導犬のイラスト、盲導犬候補の子犬を飼育するボランティアのイラストを掲載（２年P72, 76） 「You Can Do It! 2」 ・【イラスト】車いすに乗っている人のイラストを掲載（２年P86） ・【写真】様々な手話をしている写真を掲載（２年P87） 「Story Retelling」 ・【イラスト】盲導犬のイラスト、盲導犬を連れて歩いている人のイラスト、盲導犬候補の子犬を飼育するボランティアのイラストを掲載（２年P127） ・【写真】盲導犬の写真を掲載（２年P127） 「帯教材」 ・【イラスト】車いすに乗っている人のイラストを掲載（２年P133） 「見返し」 ・【イラスト】車いすに乗っている生徒のイラストを掲載（３年P5） 「Play Back the Story」 ・【イラスト】盲導犬のイラストを掲載（３年P7） 「Let's Read 2 Living with Robots」 ・【本文】重い病気をもつ男性が自宅にしながらロボットを操作してカフェの仕事に取り組む様子を紹介する本文を掲載（３年P57） 「Unit 5 My Dreams for the Future」 ・【写真】車いすに乗っている子供の写真を掲載（３年P61） ・【本文】車いすで生活する人と盲導犬候補の子犬を飼育するボランティアに言及している本文を掲載（３年P66） 「帯教材」 ・【イラスト】車いすに乗っている人のイラストを掲載（３年P125）
啓林館	「Let's Listen 4」 ・【イラスト】車いすに乗っている人のイラストを掲載（２年P120） 「Unit 4 Society for All」 ・【イラスト】ユニバーサルデザインを紹介するイラスト、シッティングバレーボール・車いすバスケットボール・車いすアーチェリー・車いす卓球のビクトグラムのイラスト、車いすに乗っている人のイラスト、点字ブロックのイラストを掲載（３年P51, 53, 60） ・【本文】ビクトグラムを取り上げた本文、HALを紹介する本文、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた公園を紹介する本文、点字ブロックを取り上げた本文、ユニバーサルデザインの具体例を取り上げた本文を掲載（３年P52, 54, 56, 58-60, 61） ・【写真】HALを装着している人の写真、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた遊具の写真、点字ブロックの発明者（三宅精一氏）の写真、インドネシア・スペイン・アメリカの点字ブロックの写真、コード化点字ブロックの写真、車いすの人がバスに乗る様子の写真、ユニバーサルデザインの具体例（センサー式蛇口・スロープ・突起のあるシャンプーのボトル）の写真を掲載（３年P54, 56, 58, 59, 61） 「Unit 6 Working in the World」 ・【写真】スロープの写真を掲載（３年P79）

「別紙２－６」【オリンピック・パラリンピックの扱い】（中学校 英語）

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要（学年 掲載ページ）
東 書	「Unit 3 Our School」 ・【写真】卓球選手（石川佳純選手）の写真を掲載（１年P33）
開隆堂	「PROGRAM 2 Koshien Project in Africa」 ・【コラム】アフリカではマラソンをはじめとする陸上競技が人気で、オリンピックなどで活躍する選手を多く輩出していることを紹介（２年P22） 「PROGRAM 3 Hot Sport Today」 ・【写真】車いすバスケットボールの競技場面の写真を掲載（３年P32, 35, 36） 「Coffee Break 1」 ・【コラム】パラリンピックの種目（車いすテニス、ボッチャ、ゴールボール、マラソン（視覚障害・車いす）、アルペンスキー、パラアイスホッケー）を紹介するコラムを掲載（３年P40-41） ・【写真】パラリンピックの種目（車いすテニス、ボッチャ、ゴールボール、マラソン（視覚障害・車いす）、アルペンスキー、パラアイスホッケー）の写真を掲載（３年P40-41）
三省堂	「Lesson 7 Athletes with Spirit」 ・【写真】スケートボードの写真、日本カーリングチームの写真を掲載（１年P96, 97） ・【本文】スケートボード、日本カーリングチームを紹介する本文を掲載（１年P96, 97）
教 出	「Project 1」 ・【本文】2020東京オリンピックで三つのメダルを獲得した卓球選手（伊藤美誠選手）を紹介する本文を掲載（１年P73） ・【写真】卓球選手（伊藤美誠選手）の写真を掲載（１年P73） 「Lesson 7 Symbols and Signs」 ・【本文】1964年にオリンピック委員会が作成したピクトグラムについて紹介する本文を掲載（１年P104-105） ・【写真】1964年にオリンピック委員会が作成したピクトグラムの写真を掲載（１年P105） 「Lesson 5 How to Celebrate Halloween」 ・【イラスト】オリンピックで柔道をしているイラストを掲載（２年P65） 「Lesson 4 People Who Support Success」 ・【写真】オリンピック・パラリンピック選手の写真、ブラインドマラソンの選手（道下美里選手）とガイドランナー（志田淳氏）の写真、ブラインドマラソンの選手（道下美里選手）とガイドランナー（青山由佳氏）の写真、ガイドランナー（志田淳氏、青山由佳氏）の写真を掲載（３年P55, 59, 60） ・【本文】2022年にオリンピックで銀メダルを獲得したカーリングチームの選手（石崎琴美選手）を紹介する本文、2021年にパラリンピックで金メダルを獲得したブラインドマラソンの選手（道下美里選手）とガイドランナー（志田淳氏、青山由佳氏）を紹介する本文を掲載（３年P56, 58-59, 60）
光 村	「Let's Read 2 Meet Hanyu Yuzuru」 ・【本文】フィギュアスケート選手（羽生結弦選手）へのインタビューを紹介する本文を掲載（２年P82-85） ・【写真】フィギュアスケート選手（羽生結弦選手）の写真を掲載（２年P82, 84, 85）
啓林館	「Unit 8 Food Diversity」 ・【本文】オリンピック・パラリンピック選手村の食事を紹介する本文を掲載（２年P114） ・【写真】オリンピック・パラリンピック選手村の食堂の写真を掲載（２年P114）

「別紙３－１」 【（２）構成上の工夫 ア、イ】 （中学校 英語）

項目 発行者	ア 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫（単元構成上の工夫等）	イ 小学校外国語科との円滑な接続のための工夫（小学校で学習した語彙や表現の扱い方等）
東 書	・各単元冒頭での目標（「GOAL」）と単元の内容に関する「目的・場面・状況」の提示、単元末での自己表現活動となる「Unit Activity」の設定、複数単元学習後の「Stage Activity」（複数の領域を統合した活動）の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。 ・各単元末の「CHECK」（振り返りの視点を示したもの）、「Stage Activity」に設定された「CAN DO CHECK」、巻末の「CAN-DOリスト」により、生徒が学習の達成状況を振り返り、把握できるよう工夫している。	・第1学年では小・中接続単元を設定（P6-10）するとともに、Unit 4までは小学校の活動を振り返るとともに、小学校で聞いたり話したりした単語や表現が中心となっている。 ・各学年巻末の「Word List」（語彙リスト）には、小学校で学習した語が分かるよう記号を付けている。また、本文の各パート等においても、「小学校の単語」を一覧にして示している。
開隆堂	・各単元冒頭での目標（「GOALS」）の提示、単元末での自己表現活動となる「Action」の設定、複数単元学習後の「Our Project」（複数の領域を統合した活動）の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。 ・各単元末の「できたかな？GOAL」（振り返りの視点を示したもの）、「Our Project」に設定された振り返り、巻末の「CAN-DOリスト」により、生徒が学習の達成状況を振り返り、把握できるよう工夫している。	・第1学年では小・中接続単元（P7-20）において、新しい仲間へのインタビュー等の英語によるやり取りや、英語の語順を理解する活動など、小学校での学習内容を踏まえた活動を設定している。 ・各学年巻末の「単語と熟語」（語彙リスト）の一覧には、小学校で学習した語が分かるよう記号を付けている。また、本文の各パート等においても、「小学校で学んだ単語」を一覧にして示している。
三省堂	・各単元冒頭での目標となる活動（「Goal Activity」）の提示、単元末での自己表現活動となる「Goal Activity」の設定、複数単元学習後の「Project」（複数の領域を統合した活動）の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。 ・各単元末の「ふり返り」（振り返りの視点を示したもの）、「Project」に設定された「ふり返り」、巻末の「What Can I Do?」（Can-Doリスト）により、生徒が学習の達成状況を振り返り、把握できるよう工夫している。	・第1学年では小・中接続単元（P7-17）を設定するとともに、小学校で学んだ語や表現を一覧にした「My Dictionary」を掲載している。Lesson 4までは小学校で学んだ言語材料を振り返りながら整理し、活用できるようにしている。 ・各学年巻末の「単語の意味」（語彙リスト）には小学校で学習した語が分かるよう記号を付けている。また、本文の各パート等においても、小学校で学習した語には記号を付けて示している。
教 出	・各単元冒頭での目標（「Goal」）の提示、単元末での自己表現活動となる「Task」の設定、複数単元学習後の「Project」（複数の領域を統合した活動）の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。 ・各単元末の「Lesson ～ をふり返ろう」（振り返りの視点を示したもの）、「Project」に設定された「Project ～ をふり返ろう」、巻末の「Can-Do 自己チェックリスト」により、生徒が学習の達成状況を振り返り、把握できるよう工夫している。	・第1学年では小・中接続単元（P6-17）を設定するとともに、Lesson 2までは小学校で学んだ表現を多く使用している。 ・各学年巻末の「Word List」（語彙リスト）には小学校で学習した語が分かるよう記号を付けている。また、本文の各パート等においても、「小学校の発信語」を一覧にして示している。
光 村	・各単元冒頭での目標（「Goal」）と単元の内容に関する「目的・場面・状況」の提示、単元末での自己表現活動となる「Goal」の活動の設定、複数単元学習後の「You Can Do It!」（複数の領域を統合した活動）の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。 ・各単元末の「Goal ふり返り」（振り返りの視点を示したもの）、「You Can Do It!」に設定された「Goal 学期のふり返り」、巻末の「CAN-DO List」により、生徒が学習の達成状況を振り返り、把握できるよう工夫している。	・第1学年では小・中接続単元（P6-19）を設定するとともに、Unit 3までは本文を漫画のセリフ形式にするなど、生徒が徐々に英文に慣れていくよう構成している。また、巻末に小・中接続単元で使われている語の一覧を掲載している。 ・各学年の「Word List」（語彙リスト）には小学校で学習した語が分かるよう記号を付けている。また、本文の各パート等においても、小学校で学習した語には記号を付けて示している。
啓林館	・各単元冒頭での目標（「Unit Goal」）の提示、単元末での「Think & Speak」「Think & Write」（自己表現活動）の設定、複数単元学習後の「Project」（複数の領域を統合した活動）の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。 ・各単元末の「Check」（振り返りの視点を示したもの）、巻末の「CAN-DO List」により、生徒が学習の達成状況を振り返り、把握できるよう工夫している。	・第1学年では小・中接続単元（P4-10）において、好きなものやできることをたずね合ったり、アルファベットを読み書きしたりするなど、小学校での学習内容を踏まえた活動を設定している。 ・各学年巻末の「Word List」（語彙リスト）には小学校で学習した語が分かるよう記号を付けている。また、本文の各パート等においても、小学校で学習した語を一覧にして示している。

「別紙３－２」 【（２）構成上の工夫 ウ～オ】 （中学校 英語）

項目 発行者	ウ 付録等の資料の工夫（分野別の語彙リスト等）	エ ユニバーサルデザインの視点	オ デジタルコンテンツの扱い
東 書	・英語学習のポイント等を示した「学び方コーナー」の掲載 ・分野別の語彙リストの掲載 ・帯活動で活用できる「Expression List」（Q&A活動に活用できる質問と表現の例の一覧）の掲載 ・「CAN-DOリスト」の掲載 ・発展的な読み物の掲載 ・各単元の「Unit Activity」に対応した表現・資料集である「Unit Activity Plus」の掲載 ・語彙や本文等の音声、動画を利用できる二次元コードの掲載 等	・全ての生徒の色覚特性に適應するようデザインしている。 ・見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。 - 等が示されている。	・パートごとに配置された二次元コードを活用して、語彙や本文等の音声等を聞くことができる。また、各単元の導入場面の動画資料を視聴したり、参考となる資料や動画を視聴したりすることができる。
開隆堂	・分野別の語彙リストの掲載 ・帯活動等で活用できる「クイックQ&A」（Q&A活動に活用できる質問文と答え方の一覧）の掲載 ・「CAN-DOリスト」の掲載 ・各単元に設定されている「Small Talk」（即興的な「話すこと」の活動）の表現例の一覧の掲載 ・活動に使用できる「アクションカード」（動作のイラストと英語表現が表裏になったもの）の収録 ・語彙や本文等の音声、動画を利用できる二次元コードの掲載 等	・カラーユニバーサルデザインの視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒が見やすくなるように配慮している。 ・日本語には見やすく読みまちがえにくいユニバーサルフォントを採用している。 - 等が示されている。	・パートごとに配置された二次元コードを活用して、語彙や本文等の音声等を聞くことができる。また、参考となる資料や動画を視聴したりすることができる。
三省堂	・英語学習の参考となる情報を提供する「For Self-Study」の掲載 ・分野別の語彙リストの掲載 ・「What Can I Do?」（Can-Doリスト）の掲載 ・「Take Action! Talk」（即興で伝え合う力を養う活動）で使用できる「ロールプレイシート」（活動を行う際の指示書）の掲載 ・語彙や本文等の音声、動画を利用できる二次元コードの掲載 等	・カラーユニバーサルデザインに配慮して編集している。 ・見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザイン書体を使用している。 - 等が示されている。	・パートごとに配置された二次元コードを活用して、語彙や本文等の音声等を聞くことができる。また、各単元の導入場面の動画資料を視聴したり、参考となる資料や動画を視聴したりすることができる。
教 出	・英語学習のポイント等を示した「How to Study」「効果的な英語学習法」「辞書の使い方」等の掲載 ・「Think & Try!」の活動におけるやり取りや作文の例を「Think & Try! 活動例」として掲載 ・分野別の語彙リストの掲載 ・「Can-Do 自己チェックリスト」の掲載 ・本文等の音声を利用できる二次元コードの掲載 等	・見やすさ、読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮している。 - 等が示されている。	・パートごとに配置された二次元コードを活用して、本文等の音声等を聞くことができる。また、参考となる動画を視聴したり、活動用ワークシート等を利用したりすることができる。
光 村	・ICTを活用する際のポイント等を示した「ICTを活用しよう」の掲載 ・分野別の語彙リストの掲載 ・各単元の学習と並行して帯活動等で活用できる「Let's Talk」（即興的なやり取りを行うための質問の表現集）の収録 ・各学年の学習方法の指針を示した「英語の学び方ガイド」の掲載 ・小・中接続単元の新出語一覧の掲載 ・「CAN-DO List」の掲載 ・アイデアを広げたり考えを整理したりするために役立つ資料である「思考の地図」の掲載 ・本文等の音声、動画を利用できる二次元コードの掲載 等	・カラーユニバーサルデザインの観点から、専門家による校閲を行っている。 ・日本語の文には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。 - 等が示されている。	・パートごとに配置された二次元コードを活用して、本文等の音声等を聞くことができる。また、各単元の導入場面の動画資料を視聴したり、参考となる資料や動画を視聴したりすることができる。
啓林館	・英語学習のポイント等を示した「英語の学び方」の掲載 ・分野別の語彙リストの掲載 ・「CAN-DO List」の掲載 ・語彙や本文等の音声、動画を利用できる二次元コードの掲載 等	・個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを用いている。メディア・ユニバーサル・デザイン協会の認証を申請中である。 - 等が示されている。	・パートごとに配置された二次元コードを活用して、語彙や本文等の音声等を聞くことができる。また、各単元の導入場面の動画資料を視聴したり、参考となる動画を視聴したりすることができる。